

佐世保市立祇園小学校

所在地 佐世保市祇園町 18 番 18 号

校長 松田 美穂

児童数 4 3 3 名

学級数 1 8 学級（令和 6 年 5 月 1 日現在）



特色ある学校づくり対策事業の実践

校訓、学校教育目標、重点努力目標

校 訓

高い理想 清い心 熱い想い

教 育 目 標

自ら学び、高め合う、特色ある教育活動を通して、豊かな知性や感性及び健やかな体を育むとともに、グローバル社会を生き抜く主体性や社会性を身に付けた、たくましい子どもを育成する。

めざす児童像

進んで学ぶ子（知）
やさしい子（徳）
元気な子（体）

1 特色ある学校づくり対策事業の目的

地域の特色や学校規模・諸条件を勘案し、積極的に「P T A 及び地域との共創」「確かな学力」「豊かな心とたくましい体」の育成に邁進していく。

- (1) 心身ともに健康で、自ら考え判断し、豊かな心と確かな学力が身に付いた児童の育成を図る。
- (2) あたたく、ふれあいに満ちた楽しい学校づくりに邁進する。

2 実践内容

【学力向上】 学びに向かう力、考え、表現する力を育てる
(全学年・通年・学校における全教育課程)

- (1) 学級経営の充実（安心して失敗できる環境づくり）
- (2) 学習意欲の喚起
- (3) グローバル人材育成英語発信力強化事業先進モデル校授業改善研修

(4) 書く・話す活動の連動による発信力の育成

【授業研究について】

①主体的に他者と関わる力、自分の思いを発信する力を育てる授業づくり
〈1年生〉生活「じぶんで チャレンジ 大きくせん」

- 夏休みに取り組んだお手伝いを紹介し合うことで、単元への意欲が高まった。また、発信相手の写真を見せたことで、相手意識が高まった。
- 年長児からのお手紙を読むことで、話合いの視点が明確化され、意見が活発に出された。
- 年長児を前に、自分たちが発表会を成功させた達成感や伝える喜びを味わうことができ、発信することへの自信が深まった。
- 教科等横断的なカリキュラム・マネジメントにより、意識的に他教科との関連付けた指導が大変効果的だった。

〈2年生〉生活「せかいでひとつ わたしのおもちゃ」

- おもちゃランドに1年生を招待する取組、仮説②については、自分たちが調べた世界のことをおもちゃ作りに取り入れる活動を仕組むことで、研究主題に示された子どもの育成を図ることができた。

(5) タブレットの適切な活用による情報活用能力の育成

〈4年生〉道徳「ふろしき（郷土愛）」

- 「ふろしき」と「レジ袋」を比較し、そのよさを考えたことで、「ふろしき」への関心が高まり、その後の活動で日本に古くからあるもののよさについて主体的に考えるきっかけとなっていた。
- ふろしきや包むものをたくさん準備し、全員に本物に触れさせる体験ができたことで、日本に昔からあるもの（日本の伝統文化）のよさについて実感させることができた。

(6) 読書活動の充実→学校司書と連携した読書活動の推進

(全学年・通年・学校における全教育課程)

①授業時の図書室利用の推進

・学級貸出の推進と教室での読書実態の把握

②発信力の強化（好きな本紹介、日本絵本賞 POP 交流サイト）

写真①～③

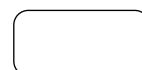
③季節や学習内容を考慮した、読み聞かせ、ブックトーク、アニメーションの実施

④図書委員会のサポート（「にこにこイベント」開催）写真④

・市立図書館との連携

⑤図書ボランティアとの連携（課題図書紹介ポスター）写真⑤

・居場所機能の充実



⑥ICT活用（蔵書検索予約サービス、読書記録）写真⑥



(7) 教科担任制（5年生、英語・家庭・図工での試み）

(8) 外国語活動・英語授業の充実

①外国語や異文化理解を軸にした教科等横断的な教育活動

〈5年生〉

佐世保エレメンタリースクールに来校していただき、相手が知りたいことのニーズに応じた発信活動に取り組んだ。

〈6年生〉

長崎国際大学国際観光学科人間社会学部の留学生をお招きし、佐世保の魅力英語で伝える体験を通して、相手意識・目的意識を強く意識した発信活動に取り組んだ。

また、ALT 10名を招聘し、英語での佐世保の魅力発信活動を実施した。（1月22日）

(9) 生活科・総合的な学習の時間における人材交流・知的活用・探求学習

〈1年生〉生活科「じぶんでチャレンジ大きくせん」において、幼稚園・保育所の年長児（100名）と交流体験活動を行う。

〈2年生〉校区内の商店街、市場等との人と関わり、主体的に自分の思いや考えを発信する体験活動を行った。

〈3年生〉佐世保独楽本舗の方をゲストティーチャーに招聘し、独楽絵付け体験や佐世保独楽に対する思いを話していただく機会を設定した。体験を通して感じた佐世保独楽の魅力について、体験入学の外国の友達に発信する場を設けることで、相手意識や目的意識をもって、発信手段や方法を考えるなど、主体的に学習に取り組むことができた。

〈4年生〉総合的な学習の時間において、社会福祉協会ボランティア

センターと連携し、福祉体験を行い、発信意欲や相手意識・目的意識を高めた。

〈5年生〉佐世保エレメンタリースクールに来校していただき、相手が知りたいことのニーズに応じた発信活動に取り組んだ。

〈6年生〉長崎国際大学国際観光学科人間社会学部の留学生をお招きし、佐世保の魅力を英語で伝える体験を通して、相手意識・目的意識を強く意識した発信活動に取り組んだ。

(10) 家庭学習の勧め

※4月17日に2年生から6年生が学力調査を受ける機会を設け、その結果を各休業中に分析し、2学期以降の重点的な指導に生かした。

【心の教育とたくましい体づくりの充実】

心の教育とたくましい体づくりを充実させる(通年・全学年・全教育課程)

(1) 道徳教育の充実(自分と向き合う場、話し合う場の重視)

・地域の人材等の活用→生き方を学ぶ講話等の実施

→命かがやくジャズコンサート(1, 2, 3年): 6月17日

→茶道体験(5年): 1月31日

(2) 全教育活動を通じた道徳教育・人権教育

・性教育セミナー(6年): 11月5日

・思春期講演会(5年): 1月17日

(3) 基本的な生活習慣を身に付ける

・元気アップカードをPTAと連携し、9月、1月に実施

(4) 安全・安心な教育環境の整備

・こども110番の確認、依頼、マップ作り(PTA)

・門松づくり

【互いに磨き合い、支え合う教師を目指し、組織力を強化する】

(通年・全学年・全教育課程)

(1) 資質向上に努める教師に

・グローバル人材育成事業の研究を可視化と共有→長崎県立大学名誉教授 山崎 祐一氏による講演会

(2) 不祥事根絶に立ち向かう

・信頼関係の中にも厳しさをもった雰囲気づくりを凶る。→校長講話

(3) 働きがいのある職場づくり

・教師自身の自尊感情を高め合う。→職員室だよりを月2回発行

【家庭・地域との連携を活性化する】学校教育の根幹、基盤づくり

(通年・全学年・全教育課程)

(1) 学校評価の公表、積極的な情報発信、異校種間連携、地域人材(関係機関)の活用

〈3年生〉佐世保独楽本舗の方をゲストティーチャーに招聘し、独楽絵付け体験や佐世保独楽に対する思いを話していただく機会を設定した。体験を通して感じた佐世保独楽の魅力について、体験入学の外国の友達に発信する場を設けることで、相手意識や目的意識をもって、発信手段や方法を考えるなど、主体的に学習に取り組むことができた。

〈6年生〉アントレプレナーシップ教育：2月18日

3 成果

- 学力調査で明らかになった各学年の課題を克服できた。特に、市、県、全国レベルで実施される調査では令和6年度も全国平均を上回る成果を得ることができた。
- 児童が読書を楽しみながら、豊かな心を育むことができた。
- 命を大切にする気持ちを育む手立ての一つとして「佐世保明るい社会づくり運動推進協議会」様の御協力を賜り、植物、野菜の栽培活動に取り組み、豊かな心の醸成を図ることができた。
- 体験活動の充実により、思考力・判断力・表現力の育成を図ることができた。グローバル人材育成「英語発信力強化事業」の研究推進により、主体性、チャレンジ精神、異文化理解、責任感、コミュニケーション能力、違いを認め合い協働する力等の資質・能力の育成を図ることができた。
- 地域とともにある学校を目指し、PTA、保護者、地域、学校が連携し、共創しながら教育活動を推進することができた。

4 課題

- 学びに向かう力、考え、表現する力をより一層育て、グローバル人材育成事業の研究を軸に研究を推進し、目指す児童像に迫る資質・能力の育成を図っていく。そのために、総合単元計画を更に学習効果を高めるものへと改善していくこと。
- 発信相手や異文化交流、本物に触れる体験活動等の仕組み方や成果を明確にしていくこと。
- 将来を見据えた資質・能力を意識し、児童の学びを引き出す授業を実践していくこと。
- 今後も、学校、保護者、地域、関係機関等と連携を強化し、人的。物的環境を最大限生かし、自ら学び、高め合う、特色ある教育活動を通して、豊

かな知性や感性及び健やかな体を育むとともに、グローバル社会を生き抜く主体性や社会性を身に付けた、たくましい子どもを育成していく。

5 おわりに

本校周辺には、佐世保市中心の繁華街があり、また市立図書館・体育文化館等の公共施設もあり、教育環境に恵まれています。さらに、祇園小の校章にも描かれている佐世保独楽とも創立以来密接な関係があります。そのような伝統文化を受け継ぎながら、『祇園』の「ひと・こと・もの」を最大限に生かし、共創することで、未来をたくましく切り拓き、逞しく、そして他者と協働しながら幸せに生きていける児童の育成に努めてまいりました。

今後も、『祇園』という豊かな環境に感謝しながら、特色ある学校づくりに邁進していく所存です。

参考資料



芋ほり



学校菜園（大根、白菜、小松菜）



獣医師による飼育動物教室



水泳授業



昔遊び体験学習



歓迎遠足



幼児との交流



A L TとのActive English Camp